

県民環境部指定管理候補者の選定結果について

1 申請団体名及び選定結果

施 設 名	申 請 団 体 名	選 定 結 果
徳島県青少年センター	徳島県青少年センター共同事業体	指定管理候補者
	株式会社ネオビエント	—

（選定理由）

徳島県青少年センター共同事業体は、現在の青少年センター整備運営事業の事業者である徳島県青少年センター P F I 株式会社を代表構成員とし、維持管理業務を担う株式会社合人社計画研究所及び運営業務を担う徳島パブリック・ビジネス株式会社により構成された事業体であり、7 年間にわたる実績と豊富なノウハウを活かし、確実に安定した管理運営が可能である。

また、現在の年間利用者数 20 万人を 23 万人に伸ばす目標を掲げ、平日昼間の利用者増に向け、講座の充実と利用者ニーズを捉えたサービスの向上を図るなど、青少年の健全育成と幼児から高齢者まで幅広く利用できる環境の整備と運営に向けた具体的な事業提案がなされた。

さらに、県内企業やプロスポーツチームと連携した事業の実現についても期待できる。

以上のことから、選定委員会における審査において、選定基準に基づく評価項目のすべてで高く評価され、指定管理候補者として適当な団体であると判断した。

施 設 名	申 請 団 体 名	選 定 結 果
徳島県立佐那河内いきものふれあいの里	特定非営利活動法人大川原	指定管理候補者

（選定理由）

特定非営利活動法人大川原は、大川原高原の自然環境について熟知するとともに、施設利用者の安全確保や生物関係に係る専門性を考慮した管理運営体制を有しており、様々な年代層からの多様なニーズに対応した、旬の自然の感動的な体験を提供できる観察会及び気軽に参加できる体験イベント等の企画・実施など、的確な業務執行が期待できる。

また、旭ヶ丸希少野生生物保護区を含む大川原高原一帯の多様な自然環境を活用し、自然環境保全に関する普及啓発や人材育成に取り組む計画が提案されている。

さらに、経費面においても L E D 照明への転換や台風等の自然災害による自然観察路等の損傷においても関係団体との協働により復旧を図るなど具体的な維持管理経費の削減が検討されている。

以上のことから、選定委員会における審査において、選定基準に基づく評価項目のすべてで適切であると認められており、指定管理候補者として適切な団体であると判断した。

2 選定委員会委員

県民環境部の選定委員については、青少年、環境とそれぞれ分野が異なることから、各施設共通委員4名と、施設ごとの委員1名、計5名の委員構成とした。

(1) 共通委員

役 職	氏 名
株式会社あわわ会長	坂田 千代子
日本労働組合総連合会徳島県連合会副事務局長	板東 喜代子
税理士	榎本 久実
県民環境部副部長	西條 和芳

(2) 施設ごとの委員

①徳島県青少年センター

役 職	氏 名
徳島大学医学部国際コーディネーター	村澤 普惠

②徳島県立佐那河内いきものふれあいの里

役 職	氏 名
徳島大学生物資源産業学部准教授	佐藤 征弥

3 選定の経緯

平成29年 7月18日	第1回選定委員会 (募集要項の承認、審査基準及び選定要領の決定)
24日	募集開始(募集要項の公表)
8月 8日～22日	現地説明会
9月 6日	募集要項配付終了
7日～21日	申請書類受付
10月 6日～12日	各選定委員が申請書類を事前分析
13日	第2回選定委員会 (書類審査、提案説明、質疑、指定管理候補者の選定)
10月23日	選定委員会からの選定結果報告書受理

4 選定委員会における選定結果

施 設 名	申 請 団 体 名	総合得点
徳島県青少年センター	徳島県青少年センター共同事業体	88.66
	A団体	73.25
徳島県立佐那河内いきものふれあいの里	特定非営利活動法人大川原	適

5 指定管理候補者の提案内容

施設名：徳島県青少年センター

区 分	徳島県青少年センター共同事業体の主たる提案内容																		
財政基盤等	○平成22年度以降7年間にわたる管理運営の実績を有し、事業の安定性を確保																		
利用者へのサービス向上と施設の有効活用の発揮	○「とくしまの未来を担う青少年とトモニ」をコンセプトに、「青少年の健やかな成長のための社会環境の整備」を具現化するため、「青少年の交流」「施設の活性化」「地域との連携」によるスポーツ・芸術文化活動の推進 ＜目標＞・年間利用者23万人 ・青少年の年間講座受講者4千人 ○利用者ニーズを確実につかむ仕組みを作り、施設運営に反映 ○幅広い年齢層の利用者のニーズに合わせた講座の実施																		
効率的な管理運営	○基準額（指定管理料）との対比（税込） <table><tr><td></td><td>基 準 額</td><td>提 案 額</td></tr><tr><td>H30</td><td>95,349,000円</td><td>85,814,000円</td></tr><tr><td>H31</td><td>97,114,000円</td><td>87,403,000円</td></tr><tr><td>H32</td><td>97,114,000円</td><td>87,403,000円</td></tr><tr><td>H33</td><td>97,114,000円</td><td>87,403,000円</td></tr><tr><td>H34</td><td>97,114,000円</td><td>87,403,000円</td></tr></table> ○実績とノウハウを活かした維持管理業務の実施 ○マニュアルによる業務の効率化による作業性の向上		基 準 額	提 案 額	H30	95,349,000円	85,814,000円	H31	97,114,000円	87,403,000円	H32	97,114,000円	87,403,000円	H33	97,114,000円	87,403,000円	H34	97,114,000円	87,403,000円
	基 準 額	提 案 額																	
H30	95,349,000円	85,814,000円																	
H31	97,114,000円	87,403,000円																	
H32	97,114,000円	87,403,000円																	
H33	97,114,000円	87,403,000円																	
H34	97,114,000円	87,403,000円																	
安定した管理のための組織体制	○現状の運営体制を引き継ぎ、安心、安全で快適な利用環境の提供 ○きめ細やかなスタッフの研修 ○多段階のモニタリングによる継続的な業務品質の改善																		
地域との連携、安全管理、環境への配慮	○地元企業、地元人材の活用により地域経済を活性化 ○迅速かつ厳格な安全管理体制の構築 ○今よりも環境にやさしい施設運営を実施																		

施設名：徳島県立佐那河内いきものふれあいの里

区 分	特定非営利活動法人大川原の主たる提案内容																		
県民の平等な利用の確保と 施設の効用の最大限の発揮	○各年代のニーズにあわせて、旬の自然の感動的な体験を提供できる各種イベントを企画・実施 ○旭ヶ丸希少野生生物保護区での自然観察・調査を通じて、絶滅危惧種等の重要性を考える機会の付与 ○県立博物館，県の試験研究機関，近隣の大学や専門家と連携した「生物多様性とくしま戦略」の普及啓発や人材育成																		
効率的な管理運営 （経済性の追求）	○基準額（指定管理料）との対比（税込） <table><tr><td></td><td>基 準 額</td><td>提 案 額</td></tr><tr><td>H30</td><td>20,768,400円</td><td>20,768,400円</td></tr><tr><td>H31</td><td>21,153,000円</td><td>21,153,000円</td></tr><tr><td>H32</td><td>21,153,000円</td><td>21,153,000円</td></tr><tr><td>H33</td><td>21,153,000円</td><td>21,153,000円</td></tr><tr><td>H34</td><td>21,153,000円</td><td>21,153,000円</td></tr></table> ○適材適所の人員配置と年間作業計画を作成し，事業を効率化 ○定期的，日常的保守点検を心がけ，施設を長寿命化		基 準 額	提 案 額	H30	20,768,400円	20,768,400円	H31	21,153,000円	21,153,000円	H32	21,153,000円	21,153,000円	H33	21,153,000円	21,153,000円	H34	21,153,000円	21,153,000円
	基 準 額	提 案 額																	
H30	20,768,400円	20,768,400円																	
H31	21,153,000円	21,153,000円																	
H32	21,153,000円	21,153,000円																	
H33	21,153,000円	21,153,000円																	
H34	21,153,000円	21,153,000円																	
安定した管理のための 人的・物的経営基盤の状況	○専門，担当に捉われず，相互に補い合う協力体制を構築 ○環境や施設運営に関する研修会に積極的に参加することにより職員の資質を向上																		
地域への貢献及び連携等	○村内外の各種団体と連携・協働するとともに，相乗効果を活かし，より良好な協働関係を構築 ○地元の小・中学校や住民が村内で実施する自然環境保全及び植生復元活動等に，積極的に参加，協力																		